



学校だよい「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～

平成 30 年 7 月 1 8 日 発行 No. 1 4 文責 塩川小学校長 佐藤 寅記



「笑顔で名前を付けてあいさつしよう」～全校朝の会での発表～

『あいさつ』の力を高める計画の一つに、子どもが、「あいさつ」について考えたことを全校朝の会で発表するという計画があり、17日は、2名の児童が全校生に向けて発表しました。

6年生のKさんは、あいさつが持つ力を、「名前を付けてあいさつした方が、相手はうれしい気持ちになる。また、自分のこともおぼえてもらえるし、相手の名前もおぼえて友達が増え、学校生活がもっと楽しくなる。」と発表しました。5年生のMさんは、「6年生のあいさつが手本となって、自分もさわやかあいさつができるようになった。そんなあいさつをして、あいさつは、人と地域の人を幸せにしてくれる魔法の言葉だ。」と発表しました。

「名前を付けてあいさつ」が、6年生による率先垂範で、学校に広まっています。塩川小の新たな伝統として根付いていきそうです。



「あいさつ」について考えたことを、全校朝の会ではっぴょうしました。

少年の主張大会で、6年1組の小野田大夢くんが、本校代表として発表します。

今週の21日（土）、13時から喜多方プラザ大ホールで開催され、市内の小中学生28名が発表します。大夢くんは、「世界に通用するもの」として、「僕たちが考えたさわやかあいさつ」について発表します。ぜひ、大夢くん達の主張をお聞きください。

放課後の活動 ～それぞれに目標を持って取り組む～



夏季限定の「水泳クラブ」ができ、初練習が行われました。このクラブは、子ども達の興味・関心や個性の伸長に対応する意味でつくったものです。子ども達は、泳力を伸ばすことや市民水泳大会等で練習の成果を発揮することなどを目標に取り組んでいます。

陸上部は、市の陸上大会に向けて、種目練習がはじまりました。合唱部は、「心を伝える」というテーマを持って、歌詞の読み取りや演奏表現の練習に取り組んでいます。

熱中症に注意！！

毎日、35℃前後の猛暑が続いています。そんな中で、愛知県の小学1年生が、熱中症で死亡するという痛ましい事故が起きました。

本校では、こまめな水分補給に留意するとともに、風通しをよくしたり扇風機を効果的に活用したりしています。また、「熱中症指数」を参考に教育活動の制限等を行っています。体調管理など個別の対応も行い、熱中症にならないよう注意してまいります。

なお、本日配布の通知も参考に、ご家庭でも

ちょっといい話

3年生のKさんとKさんは、水泳検定に、二日続けての挑戦となりました。ほとんどが6年生の中で、二人の挑戦はとも輝いて見えました。

クラスメートも、二人の挑戦を全力で応援しました。



「熱中症指数」を測る機器ご留意ください。

